

Information

ダンスアーカイブボックス@TPAM2016

国際舞台芸術ミーティング in 横浜2016 TPAMディレクション/中島那奈子ディレクション

中島那奈子[大阪/東京/ベルリン](ダンスドラマトゥルク/ダンス研究)

保存ではなく上演を目的としたダンスアーカイブを振付家自ら作るというこのプロジェクトは、もともとシンガポールの演出家 オン・ケンセンの提案を受けて、セゾン文化財団が2014年に日本のコンテンポラリーダンスのアーティストと共に始めたものです。このプロジェクトは、議論を重ねアーキビスト(*)がアーカイブボックスを作成した第一期と、ユーザー(**)となるアジアのアーティストがアーカイブボックスをもとにするパフォーマンスをシンガポールで上演した第二期から構成されました(***).

ダンスは、瞬時に生成して消滅する、身体の動きを扱います。それ故に、ダンスのアーカイブという問いは、ダンスとその歴史は誰に属するのかという所有を巡る問題を投げかけてきます。

今回ディレクターとして私は、ダンスドラマトゥルクとしてこの行程に寄り添いましたが、日本でこのプロジェクトを上演するにあたって、過去のダンスの遺産をどう考えるかという問いを、「老いと踊り」というテーマと重ねて、新たに立て直す必要性を感じました。

そこで今回は、TPAM国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2016の主催のもと、東南・南アジアからの若手、中堅アーティストに加え、日本の伝統芸能からも、ボックスを受け取ってパフォーマンスを行うユーザーを招いています。この度のプレゼンテーションは、ユーザーとアーキビストのパフォーマンス+ダイアログ、ダンスのアーカイブと老いを巡るシンポジウム、ダンスアーカイブボックスプロジェクトの展示の三部から、構成されます。

* アーキビストとは自らの作品をアーカイブし、アーカイブボックスを作ったアーティストで、第一期では伊藤千枝、黒田育世、白井剛、鈴木ユキオ、手塚夏子、矢内原美邦、山下残の7人。

** ユーザーとはアーカイブボックスを受け取り、パフォーマンスを行ったアーティストで、第二期ではラニ・ナイル、パドミニ・チェター、チェイ・チャンケトヤ、プリティ・アトレヤ、ヴェヌーリ・ベレラ、マーギー・メドリン、マンディープ・ライキーの7人。

*** プロジェクトファシリテーター: オン・ケンセン、中島那奈子、武藤大祐、マーギー・メドリン



手塚夏子氏のアーカイブボックス
写真提供: (公財)セゾン文化財団

プログラム

1. パフォーマンス+ダイアログ

【会場】横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペース

【日程】2月10日(水)

ユーザー: ナフテージ・ジョハール × アーキビスト: 鈴木ユキオ

ユーザー: チェイ・チャンケトヤ × アーキビスト: 白井剛

2月13日(土)

ユーザー: ヴェヌーリ・ベレラ × アーキビスト: 手塚夏子

ユーザー: 花柳大日翠 × アーキビスト: 伊藤千枝 他

2. ダンスのアーカイブと老いを巡るシンポジウム

The Archiving Body in Dance

【会場】BankART Studio NYK 2F

【日程】2月14日(日)

シンポジウムスピーカー: オン・ケンセン(キーノートーク)、武藤大祐、マーギー・メドリン、ナフテージ・ジョハール、久野敦子(セゾン文化財団)、中島那奈子、他

シンポジウムディスカッサント: ヴェヌーリ・ベレラ、手塚夏子、伊藤千枝、他

3. 展示

【会場】横浜赤レンガ倉庫1号館2階スペース

【日程】1月30日(土)~2月14日(日)

協力: 公益財団法人セゾン文化財団、シンガポール国際芸術祭(SIFA)

TPAM

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2016

主催: 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2016 実行委員会(国際交流基金アジアセンター、公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、PARC-国際舞台芸術交流センター)

会期: 2016年2月6日(土)~14日(日)

会場: KAAT 神奈川芸術劇場、横浜赤レンガ倉庫1号館、BankART Studio NYK.YCC ヨコハマ創造都市センター、神奈川県民ホール 小ホール、AMAZON CLUB ほか

<https://www.tpam.or.jp/2016/?program=dance-archive-boxes>

viewpoint セゾン文化財団ニュースレター第73号

2015年12月25日発行

編集人: 片山正夫

発行所: 公益財団法人セゾン文化財団

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-1 東貨ビル8F

Tel: 03-3535-5566 Fax: 03-3535-5565

URL: <http://www.saison.or.jp>E-mail: foundation@saison.or.jp

●次回発行予定: 2016年3月末 ●本ニュースレターをご希望の方は送料(92円)実費負担にてセゾン文化財団までお申し込みください。